

事例

子育て情報誌作成と ネットワークづくり事業

みずほ愛育会（埼玉県）

〒354-0011 埼玉県富士見市水子 4888

TEL 049-254-0022

活動の概要

- ・子育て中の母親たちにとって真に必要な情報誌を作るため母親たち自らが作成に参加する
- ・地域で横の連携を持って子育て支援をするために子育て中の母親たちを核とした地域住民機関のネットワークをつくる

法人の概要

- ・地域で愛育班活動、更生保護婦人会等をしてきた前理事長が、市の依頼も受けて、福祉活動の集大成として設立した
- ・東京のJR池袋駅から25分、最寄り駅から徒歩5分と便がよく、保護者は都内へ通勤する常勤者が多い
- ・少子化に逆行して富士見市（特にみずほ台地区）では出生数が減らず、就園前の乳幼児が多い。（自然にも恵まれ、公園の数も多く、物価もそれほど高くないので子育てするには住みやすい）

- 経営施設数…1
- 法人全体の年間事業収入…176,000 千円
- 主な経営施設
保育所…1

実施施設の概要

- 施設名…けやき保育園
- 施設種別…保育所（定員 120 名）

■施設の運営方針

- ・健康な心と体を育てる保育
- ・地域の子育て支援に携わる

活動の内容

- 活動対象者…子育て最中の母親、子育て支援に携わる人たち
- 活動の頻度…月1回 2時間
- 年間の利用者…568名
- 活動開始年…2005年

■活動開始の背景（取り組みの経緯）

当市の次世代育成支援行動計画策定の際、策定委員として参加したときに、現役の母親たち又サポートする人たちと出会い、意欲のある母親たちを核に、行政のしくみにしばられずに横の連携をもってネットワークを作ろうということになった。

助成金を受けたこともあり、「子育てガイドブック作成」ということで毎月会合を開き、自分達が携わっている現場の情報交換をしながらネットワークを構築しようということになった。

■人材・資金面等での工夫、苦慮

- ・今回は助成金を受けることができたので、質の高い「ガイドブック」を完成させることができた。すでに、来年度への要望が出ているので、資金をどうしていくのが課題

題である。

- まだまだ、一部の人たちだけのネットワークであり、今後、広げていくにはどうすればいいか悩む。

主な経費や財源の内訳（年間当たり）

主な経費	概算額
ガイドブック作成費) 1,450 千円
会議費	
研修謝金	180 千円
合計	1,630 千円

主な財源	概算額
・法人本部負担額	10 千円
・施設負担額	
・利用者負担額（利用料）	
・補助金収入 <small>福祉医療機構 （補助金事業名：子育て支援基金）</small>	1,620 千円
・その他の収入	
合計	1,630 千円

活動の成果、地域の影響、今後の課題

- ・ 母親たちが立ち上げたサロンが喜ばれ、子育て中の母親から感謝された。
- ・ 先輩ママたちがサロンサポーターとなり、子育て親子を支援する雰囲気づくりができた。
- ・ ネットワーク会議を行なったことで、横の連携が図られ、民間レベルでは手伝いあうことが多くなった。
- ・ 保健センター、公民館など行政との連携がまだ不足している。

ガイドブックをまず最初の一步にできた感はある。